



スペシャルオリンピックス日本・徳島ニュースレター

「阿波っち」

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島

〒770-0005 徳島市南矢三町 2 丁目 1-59 徳島県立障害者交流プラザ内

TEL088-634-3173 FAX088-634-3177

URL <http://www.son-tokushima.or.jp/> mail: office@son-tokushima.or.jp

スペシャルオリンピックス(SO)とは・・・

知的発達障がいのある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

さらなる飛躍へ 新春餅つき盛大に



1月7日に障害者交流プラザで開かれた SON・徳島初の「新春餅つき大会」は SO 内外から 100 人以上が参加し、新年を祝った。

会場ではつきたての餅と手作りのぜんざいが来場者や参加者に振る舞われた。餅つきには地域の方々、障害者プラザ職員の方々の参加協力もあり、アスリートたちは経験者から手ほどきを受けて、慣れない手つきながら餅をついたり丸めたり、目を輝かせていた。

まさに障害者交流プラザの名前のおり、皆が交流し和気あいあいと楽しくにぎやかな行事となった。





「設立 10 周年を迎えて」

会 長 三 谷 郁 彦

NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島も今年の 6 月 22 日で丸 10 周年を迎えます。おかげさまで、着実に活動の輪は広がり、多くの方にスペシャルオリンピックスを知っていただきました。

去年は、日本でも初めての取り組みだったと思いますが、徳島県とスペシャルオリンピックスの協働事業「ユニバーサルとくしま県民スポーツ祭」を開催し大きな話題となりました。また、プロテニスプレーヤーの神尾米さんを招いての「テニス体験キャラバン」も楽しく開催ができました。

しかしながらまだまだ組織として充実しているとは言えません。一人でも多くのアスリートが気軽に参加できる体制づくりが急務となっています。また慢性的なコーチ不足も続き、一部のコーチたちに負担が掛かっているのも事実です。

今年は設立当初の原点に戻り、誰もが気軽に参加できる環境づくりに注力したいと思います。また、企業にもご支援をいただき、「企業の社会的責任（CSR）」の導入として、共に歩めたらどんなに素晴らしいことかと考えています。

次のような基本方針を立て、計画的に実行して行きたいと思います。

充実した活動が出来ますようご協力、ご支援を引き続きよろしくお願い致します。

===2007 年度基本方針===

1. スペシャルオリンピックス活動の原点に戻り、誰もが参加しやすい環境をつくりまします。
2. より多くのアスリート、ボランティアが集まる魅力ある組織を目指します。
3. 慢性的な資金不足を補うファンドレイジング（資金調達）を強化します。
4. 各種関係団体との連携を図り、より充実した活動を目指します。
5. 誰もが安心して活動できる危機管理体制を構築します。

楽しいスペシャルオリンピックスの雰囲気、あなたの参加によってますます楽しくなることを期待しています。



こんな活動をしました！

クリスマスパーティー2006



毎年暮のお楽しみ、クリスマスパーティーが12月24日に障害者交流プラザで開かれ、91名が参加した。

テニスクラバで指導して下さった蛭子山テニスクラブのオーナー率いる「えびすやまホームズジャズバンド」のスペシャルコンサートや、可愛いサンタのダンスなどの出し物で会場は盛り上がった。またファミリー手作りのおいしい料理がテーブルにたくさん並び、お腹も一杯大満足の楽しいパーティーだった。

映画「ビリーブ」上映会



昨年11月27日から12月5日にかけて映画「Believe」（ビリーブ）が徳島ホールと北島創世ホールで上映され、あわせて1418名の方が来場した。

11月27日にはS0日本名誉会長の細川佳代子氏講演会、12月3日には監督の小栗謙一氏とキャストの和田勇人さん、増満伸朗さんが舞台挨拶に来徳した。

来場者アンケートには、「とても感動した」「元気をもらった」「認識が変わった」などと嬉しい感想をいただいた。

また、皆様のご協力により約180万円もの収益があった。60万円を徳島新聞社会文化事業団へ寄付し障害者福祉事業に役立てていただくことにし、60万円をSON・徳島に寄付、残りの約60万円で「ビリーブアクティブ地域貢献基金」を設立した。この基金はS0の日常活動以外で地域社会に貢献する活動などに使用される。

ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

(写真中央手前が小栗監督、2列目が和田さん、奥が増満さん 徳島ホールにて)

みんなのメッセージ

アスリートメッセンジャー

澤 朋行

今年1月3日に成人式を迎えました。自分の行動に責任を持つようにと成人式のお話にありました。僕はなかなかむずかしい話だなと思いました。

仕事にスペシャルオリンピックスの活動に頑張りたいと思います。

仕事はぼくの行っている JCI でクロネコメール便という仕事を始めました。メール便のポストイングの仕事です。その他に古紙回収に行ったりリサイクルパソコンのクリーニングの仕事や印刷物の帳合いをしたりしています。

毎日楽しいですが土日仕事の時があり、あまりスペシャルの活動に参加できなくなっています。でもアスリートメッセンジャーのブログを書いたり、エアロビやスキー、水泳はやりたいと思っています。

これからもよろしくお願いします。



アスリート委員長

関口 佳彦

あけましておめでとうございます。去年11月はコーチやアスリートたちと熊本に行って競技、交流会参加をして他の県の人と名刺交換をいっぱいできて楽しかったです。

今年はアスリート委員会をもっと開いて、みんなで楽しめるような行事や計画をする予定ですので皆さんの参加と協力をよろしくお願いします。今年もみんなで楽しみましょう。

『Let's Have Fun! in 2007』

(今年も楽しくやりましょう!)

運営委員長

田所 健作

今年からいろんな意味で、摂生を本気で心がけることにした・・・い田所です。

SPコーチとして私の今年の目標は、次の3つです。

- ① 4月からスタートするフロアホッケーPを充実させ、来年の冬季NG(山形)への出場に繋げる。
- ② 7月開催予定のバスケットボール競技会に向けてアスリートと共にレベルアップを目指す。
- ③ 関わるプログラムにおいて、それぞれのアスリートに合ったトレーニングを模索していく。



アスリートのみならず、自分の目標を考えてみましょう。

それから、今年のプログラムやイベントが、もっともっと楽しくなることをイメージ(想像)してみましょう。そして、そのイメージが実現するように一緒に取り組んでいきましょう。楽しいアイデアをいっぱい出して下さい。本年もよろしくお願いします。

『引き継ぐこと』

SP 委員長

原田 優子

「私らしく」空回りしているうちに 1 年が過ぎました。プログラム会場は、いつも賑やかで明るく、羨ましくも感じます。本年から、プログラムが定員制となり、『実施手順のマニュアル化』等、未整備の部分も見えてきました。「担当者だけが知っているプログラム」から、「全員が支え合えるプログラム」へと、進化をしていく時期だと思います。「今の担当者ができなくなったらプログラムがなくなる」のではなく、「今の担当者ができなくなる前に引き継ぐこと」を考えてください。そして今の担当者は、次の担当者を支え続けてください。SON 設立時から中心的に活動されている「ある方」が熊本 NG 現地説明会の際に次のように発言されました。

『いつまでも同じ人が担当していたのでは広がらない。古い人は一步下がりにさい』
今年『引き継ぐこと』を目標に、『目標→努力→達成の喜び』を一人でも多くの方と共有できるようにしたいと思います。



『皆さんの笑顔に会いたい』

ボランティア委員長

佐藤 弘人

スペシャルオリンピックス日本・徳島で今年の春からボランティア委員を担当させて頂いております佐藤弘人と申します。

私自身が昨年 1 年間に参加させて頂いた主な行事は 3 月のユニバーサルとくしま県民スポーツ祭、5 月の県職労祭でのバザー、6 月の神尾米さんが来県したスポーツ体験キャラバンテニス、夏の阿波踊り、冬に行われたビリーブ映画上映会、サッカーお試しプログラム、そして障害者交流プラザで行われたクリスマス会などです。さまざまなイベントに参加させて頂き思った事は、アスリートの方、ファミリーの方、そしてさまざまな業種のボランティアの皆様と知り合いになれた事が、私にとって本当に大きな財産になったと思います。

また、イベントが終了した際の皆様の清々しい笑顔、満足された表情がとても印象的でした。昨年は非常に勉強になった 1 年となりました。

今年もいろんな行事に参加し、ボランティア委員の立場で積極的に企画も行い、また皆様の笑顔に会いたいと思っています。どうか宜しくお願い申し上げます。



『笑顔を増やす(o^-^o)』

ボランティア

谷口 美香

笑顔を増やす。これ毎年同じ目標。

人の笑顔が大好きで、見ると安心して私の心は柔軟になり、可能性に向かってトライする元気の源となる。

百人集まれば百通りの個性や価値観があるから、それを一つにするのは難しくても、一つになろうとする努力は続けたい。一つの事をして反響は様々だけど、突っ走りすぎず臆病になりすぎず、一つ一つを大切に一人一人の笑顔を見ていきたい。それには私の人見知りを克服しなければいけないので少しずつでも自ら足を伸ばしていきたい。

笑顔を生み出す為に必要なことは沢山ある。楽しいことばかりではない。でも、それらを頑張れば笑顔に繋がらないはずはないと信じている。

今年から休暇が増え、去年はできなかったことに着手するゆとりが増えた。いたらない谷口親子ですが、SO 活動に楽しく参加させてもらいます。

『SO 日本・徳島 2007 年度財務について』

財務委員長 白石 光生

昨年度に引き続き下記要領にて健全な運営が出来るよう努力する。

1. 新規社員の入会を促進すると同時に在籍社員の年会費を滞りなく早期に納入していただくようお願いする。
2. 賛助会員及び法人会員を広く募集する。そのために、社員 1 人 1 人が新規社員及び賛助会員、法人会員 1 件の獲得に努力する。

18 年度はビリーブ上映での収益金を実行委員会から寄付していただいたため何とか運営できたが本年度は寄付金収入の見込みがないので特に会費収入に焦点を絞らなくてはならない。同時に各行事参加費も若干の値上げをお願いしたい。



『生き生き素敵なファミリー委員会に』

ファミリー委員長 埴淵 はるみ

こんにちは。昨年はファミリー委員会の行事に御協力をいただきまして、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

現在ファミリー委員会の行事として通年山岡町子先生と共にエアロビクスを楽しんでおります。昨年は大阪ダンスフェスタに参加し、阿波踊りと YMCA をメドレーにして踊ってまいりました。今年は 4 月 15 日に羽ノ浦のコスモホールにて発表会を行います。アスリートとファミリーによるとても愉快的な踊りをぜひ見に来てください。皆力いっぱい頑張っております。

また、今年度はファミリー委員会を早い時期に開きたいと考えております。ファミリー委員会とは、SO に属しておりますファミリーの皆様との会です。新しく SO に入られた方も、是非参加して下さい。一緒に活動をしていきませんか。そして生き生き素敵な一年にしましょう。

『講習会の開催を継続』

医療安全委員会 金谷 智恵子

昨年度、医療安全委員会では、日本赤十字社徳島県支部より講師をお迎えして救急蘇生法の講習会を行い、21 名の方が受講されました。蘇生法の実施方法も改訂がありますので、本年度もまた行いたいと思います。

また、会員の方の平均年齢も段々と上がり、生活習慣病が気になるころです。徳島県は糖尿病死亡率第 1 位が続いております。メタボリックシンドロームの言葉もよく聞かれると思います。メタボリックシンドロームが何かを分かりやすく教えていただき、アスリートにとっての食育の大切さを考えるため、講習会を持ちたいと思っています。ご参加ご協力をよろしくお願いいたします。

『楽しい SO 活動』

事務局 四宮 梨江

みなさんこんにちは。昨年 10 月から事務員としてお世話になっています。SO の活動に参加してみなさんの優しさとパワーに触れ、元気をもらっている毎日です。昨年はナショナルゲームにビリーブ上映会、クリスマスパーティーなど、忙しくも楽しい行事がたくさんあり、とても貴重な経験をさせていただきました。まだまだ未熟者でご迷惑をおかけするばかりですが、早く一人前に仕事出来るよう頑張ります。去年は苦戦した決算も、今年は青い顔をしなくてもいいように余裕を持って取り組みます。

また、まだお会いしたことのない会員さんとの交流も深めたいと思っています。みなさま、どうぞお気軽に事務局へ遊びに来てくださいね！今年もよろしくお願いたします。



『活発な広報活動を行います』

広報委員長 喜多條 高資

皆さんお元気ですか。今年もよろしくお祈りします。

広報委員会では、会報「阿波っち」や各種広報チラシ等の発行を通じて、スペシャルオリンピックスの良さをたくさんの人に知ってもらおう活動をしています。しかし昨年は、「阿波っち」発行は2回にとどまり、十分な活動ができていません。反省、反省…。今年はスポーツプログラムや各種イベントの広報を徹底し、SOをより活気づかせる活動を展開していきたいと思っています。ご協力よろしくお祈りします。

SOはアスリート、ファミリー、ボランティアの三者が互いに助け合い、盛り上げていかなければならないと考えています。今年はSON・徳島創立10周年の年。新たな飛躍へ向け、猪突猛進ではなく熟慮断行、勇猛果敢、大胆不敵に前進していきましょう。

ファミリーの皆さん、要望や近況をお知らせください。コーチやボランティアの皆さん、組織活性化のための意見を聞かせてください。そしてアスリートの皆さん、楽しい話題をどしどしお寄せください。

【今年のご目標】

- 1、スペシャルオリンピックスの活動を知ってもらう広報活動を展開する
- 2、各スポーツプログラムの日程を周知徹底する
- 3、会報「阿波っち」を年に4回発行する
- 4、SON徳島10周年に合わせた行事を企画し、広く参加を呼び掛ける
- 5、新会員を開拓し、会員間の交流を深める

2008年第4回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・山形

概要速報

開催趣旨

- * 知的発達障害のある人のスポーツプログラム成果の発表の場として提供される全国大会としての競技会である
- * 2009年にアメリカ合衆国アイダホ州で開催される「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」参加アスリートの国内選考を兼ねる。

期間：2008年3月7日（金）～3月9日（日） 3日間

実施競技：スピードスケート・フィギュアスケート・フロアホッケー・アルペンスキー
スノーボード・クロスカントリースキー・スノーシューイング

参加人数（予定）：選手団 約1,000名（アスリート約650名、団長・コーチ約350名）

海外招待選手団

大会役員・スタッフ・ボランティア 約3000名

主催・主管

主催：NPO 法人スペシャルオリンピックス日本

主管：スペシャルオリンピックス日本・山形

さあ、やさしさ広がるユニバーサルな社会へ

スペシャルオリンピックスは、知的発達障がいのある人たちに、年間を通じて様々なスポーツトレーニングやイベントを提供しています。それにより彼らアスリートが健康を増進し、勇気を示し、喜びを感じ、家族や他のアスリート、また地域の人たちと能力、技術、友情を分かち合う機会が増えることを願っています。

ボランティア大募集中！スペシャルオリンピックスに参加しませんか

S0 活動は多くの方の理解や協力が必要です。活動の趣旨に賛同し、参加・協力していただけるボランティアを募集しています。スペシャルオリンピックスを共に支えて、一緒に活動してみませんか！コーチ、サポーター、資金援助などあなたにできる、ほんの少しをお申し出ください。

○郵便口座 01630-6-22084 スペシャルオリンピックス日本・徳島

◆ 今後の日程(スポーツプログラム以外)

- 2月17日(土)～18日(日) スキー合宿(大山スキー場)
- 2月25日(日) コーチクリニック(研修会) SO とは?知的発達障害とは?(障害者交流プラザ)
- 3月10日(土)～4月8日(日) キグレ NEW サーカス観覧招待(小松島市特設会場)
- 3月13日(火) 明治大学マンドリン倶楽部コンサート鑑賞招待(アスティートくしま)
- 3月21日(水) フリーマーケット(障害者交流プラザ体育館)
- 4月15日(日) ファミリー委員会エアロビ発表会(羽ノ浦町コスモホール)
- 8月14日(火) 阿波踊り(徳島市役所前演舞場ほか)

◆ スポーツプログラムは SON・徳島 WEB サイトの活動スケジュールをご覧ください

【編集後記】

フリーマーケットやプラザの売店に出品する品物を募集しています。新品の物、手作りの品等をぜひご提供ください。



今回の阿波っち編集は、ご多忙な喜多條事務局長に代わって事務員四宮が担当させていただきました。当初の締め切りを大幅にオーバーし、機関紙編集の大変さを思い知った次第です。広々とした事務室に1人である私には、なかなかいいネタがありませんでした。万が一、また編集作業を言い渡された時のために、今後は活動の場にどんどん参加しようと思っています。どうぞよろしく！

四宮梨江

伝言板

●SON 徳島 WEBのご案内

日常のプログラム予定、お知らせ、ホットな情報が見られます。また、サイトより、メーリングリスト登録も可能です。メーリングリストとは随時、メールで最新情報を送っています。

携帯URL: <http://www.son-tokushima.or.jp/i/>

PC URL: <http://www.son-tokushima.or.jp/>



カメラ付き携帯で簡単にアクセス出来ます。



Special Olympics
Nippon / Tokushima

- 発行: NPO 法人 スペシャルオリンピックス日本・徳島
〒770-0005 徳島市南矢三町2丁目1-59
徳島県立障害者交流プラザ内
TEL 088-634-3173 FAX 088-634-3177
- 担当: 広報委員会
- 発行日: 2007年2月11日

この印刷は、富士ゼロックス四国様のご協力をいただいています。

情報漏洩対策、ウィルス対策など、企業のセキュリティ対策なら「beat」にお任せください。富士ゼロックス四国(株)徳島支店 088-625-9181

